

日本文化を学ぶ インドネシアの若手メディア関係者と交流 両国間の共通点と違いに興味津々

2025年1月31日（金）

1月31日(金)、インドネシアのテレビ局や新聞社など、メディアで働く若者らが外務省の国際交流プログラムでHTBを視察し、意見交換を行いました。一行は日本の社会や文化への理解を深めるため北海道を訪れた若い世代の16名で、アナウンサーや報道部員との意見交換では「報道の自由はどこまで認められているのか?」「テレビ離れに対応するインターネットでの展開は?」「マスコットキャラクターの役割は?」など、さまざまな質問があがっていました。また技術局員の説明を受けながらスタジオや主調整室を見学、「速報はどのように伝えるのか」などと尋ねて、インドネシアとの違いを確認していました。一行は道議会や新聞社なども視察、8日間の国際交流プログラムの報告会では「自分のテレビ局でもonちゃんのようなキャラクターを作りたい」という声も聞かれました。

